



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 加藤産業株式会社
 コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神月 豊

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	255,858	1.5	2,742	16.2	3,159	15.0	2,061	20.9
28年9月期第1四半期	252,146	2.7	2,361	△3.3	2,748	△3.1	1,704	△3.7

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 3,969百万円 (81.9%) 28年9月期第1四半期 2,182百万円 (△19.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	56.28	—
28年9月期第1四半期	45.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	349,360	108,153	30.0
28年9月期	304,788	105,038	33.5

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 104,976百万円 28年9月期 101,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	23.00	—	23.00	46.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	485,000	0.9	4,570	6.1	5,020	2.8	3,150	14.7	85.99
通期	965,000	1.2	8,420	6.1	9,500	5.0	6,000	15.3	163.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	38,153,115 株	28年9月期	38,153,115 株
29年9月期1Q	1,522,181 株	28年9月期	1,522,109 株
29年9月期1Q	36,630,988 株	28年9月期1Q	37,451,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景とした緩やかな回復基調が見られるものの、海外情勢では、政権交代期における米国経済の動向、中国の景気減速、欧州の政治リスク等の懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しているものの、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いております。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活の多様化も見られ、企業を取り巻く競争環境が幅広くなり、また、人手不足等に伴う物流関連コストの負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において当社グループは、卸売業の役割である「つなぎ」と提案型営業を推進し、営業力のさらなる強化により小売業をはじめとした取引先との取り組みを一つひとつ積み重ね、店舗の売場創造提案を行うとともに自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、価格だけに頼らない価値の提供に取り組みました。また、物流費をはじめとした諸経費の抑制及び業務の生産性向上等のローコストオペレーションにより経営の合理化に努めました。

海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、中国・シンガポール・ベトナム国内での食品卸売事業の展開と、日本を含めたアジア諸国間の食品流通インフラの構築を図っており、アジア地域における事業展開の強化を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて1.5%増加し、2,558億58百万円となりました。利益につきましては、自社ブランド商品の拡販及び利益管理の徹底を図るとともに、物流の効率化を進めた結果、営業利益は27億42百万円（前年同四半期比16.2%増）となり、経常利益は31億59百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べて20.9%増加し、20億61百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、日常の生活関連消費における生活防衛意識の強さが続いている一方で、消費者の生活スタイルの変化等によって需要の多様化も見られます。

このような状況下において、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を築くとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めることで、自販力の強化を図りました。また、物流費の抑制及び生産性向上に取り組み、経営の効率化を進めました。

以上の結果、売上高は1,845億65百万円（前年同四半期比4.1%増）となり、営業利益は22億31百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、国内経済動向の不安定化や景気の先行き不透明感を反映した消費の手控えに加え、根強い節約志向により経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下において、大手得意先との取引が減少するものの、商品や売場企画等の提案型営業による売上総利益率の改善に取り組むとともに、物流センター運営の効率化を図ることで物流費を削減いたしました。

以上の結果、売上高は256億49百万円（前年同四半期比1.6%減）となりましたが、営業利益は1億17百万円（前年同四半期比410.6%増）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、所得環境の改善を背景に価格と価値を伴った上級化・上質化商品への需要移行が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。しかしながら、成熟化した市場の中で、国内人口の減少や少子高齢化に伴う飲酒人口の減少や若年層のアルコール離れによって酒類市場の縮小傾向が続いており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において、主要取引先との取組みや自販力の強化を図るとともに、利益管理を徹底し、コスト削減及び生産性向上を図ることでローコストオペレーションに取り組みましたが、大手得意先との取引減少により、売上高は479億32百万円（前年同四半期比6.7%減）となり、営業利益は1億3百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流事業などによる取引の増加と諸経費の減少により、売上高は30億25百万円（前年同四半期比3.1%増）となり、営業利益は2億89百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ445億71百万円増加し3,493億60百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加したことから、429億84百万円増加し2,449億54百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により、15億86百万円増加し1,044億5百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、408億84百万円増加し2,280億95百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、5億71百万円増加し131億11百万円となりました。

純資産は、31億14百万円増加し1,081億53百万円となり、その結果、自己資本比率は30.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日の「平成28年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,635	61,176
受取手形及び売掛金	111,241	148,039
有価証券	1,873	2,515
商品及び製品	20,227	25,950
仕掛品	11	6
原材料及び貯蔵品	392	371
繰延税金資産	693	408
その他	6,289	6,885
貸倒引当金	△396	△400
流動資産合計	201,969	244,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,634	15,305
機械装置及び運搬具(純額)	2,707	2,630
工具、器具及び備品(純額)	506	496
土地	25,071	25,035
リース資産(純額)	1,537	1,507
建設仮勘定	4	222
有形固定資産合計	45,462	45,197
無形固定資産		
のれん	3,272	2,980
ソフトウェア	3,253	3,154
電話加入権	45	45
その他	47	38
無形固定資産合計	6,618	6,219
投資その他の資産		
投資有価証券	37,040	39,287
差入保証金	5,158	5,162
投資不動産(純額)	3,536	3,508
繰延税金資産	384	322
退職給付に係る資産	1,031	1,083
その他	3,644	3,680
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	50,737	52,988
固定資産合計	102,819	104,405
資産合計	304,788	349,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	173,372	213,871
短期借入金	892	858
リース債務	500	500
未払金	8,584	10,101
未払費用	232	151
未払法人税等	1,560	900
未払消費税等	275	182
繰延税金負債	0	—
賞与引当金	1,142	614
役員賞与引当金	50	26
資産除去債務	9	—
その他	589	887
流動負債合計	187,210	228,095
固定負債		
長期借入金	566	484
リース債務	1,105	1,074
繰延税金負債	3,754	4,580
役員退職慰労引当金	369	315
退職給付に係る負債	5,234	5,201
資産除去債務	156	157
その他	1,352	1,297
固定負債合計	12,539	13,111
負債合計	199,749	241,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,813	8,813
利益剰余金	79,866	81,085
自己株式	△2,980	△2,980
株主資本合計	91,633	92,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,320	12,271
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△472	△644
退職給付に係る調整累計額	502	497
その他の包括利益累計額合計	10,350	12,124
非支配株主持分	3,054	3,176
純資産合計	105,038	108,153
負債純資産合計	304,788	349,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	252,146	255,858
売上原価	236,239	239,534
売上総利益	15,906	16,324
販売費及び一般管理費	13,545	13,581
営業利益	2,361	2,742
営業外収益		
受取利息	45	58
受取配当金	238	247
不動産賃貸料	65	78
貸倒引当金戻入額	0	0
売電収入	24	22
その他	98	92
営業外収益合計	471	499
営業外費用		
支払利息	14	12
持分法による投資損失	3	4
為替差損	13	4
不動産賃貸費用	23	35
売電費用	23	20
その他	6	5
営業外費用合計	84	82
経常利益	2,748	3,159
特別利益		
固定資産売却益	14	140
投資有価証券売却益	1	4
特別利益合計	16	145
特別損失		
固定資産除売却損	0	42
投資有価証券売却損	0	0
たな卸資産廃棄損	79	—
リース解約損	0	1
特別損失合計	80	44
税金等調整前四半期純利益	2,683	3,260
法人税、住民税及び事業税	650	814
法人税等調整額	336	301
法人税等合計	986	1,116
四半期純利益	1,697	2,143
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,704	2,061

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,697	2,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	837	2,015
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△385	△168
退職給付に係る調整額	△2	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	35	△16
その他の包括利益合計	485	1,825
四半期包括利益	2,182	3,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,239	3,835
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	174,530	26,020	50,108	250,659	1,486	252,146	—	252,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,718	34	1,263	4,017	1,448	5,465	△5,465	—
計	177,248	26,055	51,372	254,676	2,935	257,612	△5,465	252,146
セグメント利益	1,946	23	115	2,084	279	2,364	△2	2,361

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	181,775	25,596	46,922	254,294	1,564	255,858	—	255,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,789	53	1,010	3,853	1,461	5,314	△5,314	—
計	184,565	25,649	47,932	258,148	3,025	261,173	△5,314	255,858
セグメント利益	2,231	117	103	2,452	289	2,741	1	2,742

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。